



- ・社員心得斉唱
- ・挨拶実習、ハイットの練習
- ・社長挨拶
- ・連絡事項

2月26日、パレスグラウンダーにて平成22年度倫理経営講演会が開催されました。152社285名のご参加でした。池田会長の開会挨拶の後、約10分の朝礼実演を行いました。

### 【山形蔵王株式会社の朝礼実演】

- ・開始15秒前に姿勢を正す
- ・開始ベルで朝礼の進行開始
- ・出席者の確認

### 特集

## 倫理経営講演会



- ・職場の教養輪読と感想
- ・今日の心がけ斉唱
- ・終了ベルと挨拶、解散



実演終了後に前盛直人朝礼委員長が次のような挨拶をされました。

この朝礼実演のために、私たち6社7名のメンバーが毎週のように集まり一生懸命に練習をしてまいりました。今日は大勢の皆さまに山形蔵王株式会社活朝礼の実演をご覧いただいたこと、また、決して完璧とは言えませんが、活朝礼の基本形をご披露することができたことに感謝申し上げます。活朝礼は毎日かつ身近にできる社員教育であると思います。輪読時自ら「ハイット」という返事で読み上げれば積極性を養えます。読後の感想を述べれば、短い時間の中で簡潔にまとめて相手に伝える訓練です。あいさつを皆で揃えることは協調性や連携を養います。間髪入れずにハイットと大きな声で返事をすれば、それは社員の成長のバロメーターです。そういう点で活朝礼をお勧めいたします。

※5月には朝礼研修を行いますので、是非お申込みください。

続いて、(社)倫理研究所常任理事、中西浩普及本部長が日本創生心「希望は心の太陽である」というテーマで講演されました。



中西浩普及本部長が日本創生心「希望は心の太陽である」というテーマで講演されました。

中西本部長は、自らの豊富な体験談や事例を元に次のようなことをお話ししてくださいました。今まさに下りのエスカレーターを駆け上がるようにしているような、そういう中にそれぞれの企業があります。しかし、確実に小さくなっていく市場の中であつても、増収増益をあげている一握りの同業者が必ずあり、同業他社が食われ続けています。決して全てが目減りしているわけではありません。

ピンチはチャンスですよ。人はよく言いますが、そんな奇麗事ややっていけない時代ではないです。ピンチをピンチだときちんと受け止めた人だけがチャンスにつなげられます。好況時と違い、不況時にはいくらかでも隙間があるので、それをきちんと押さえて踏み込む勇気さえあればいくらかでも稼げます。その、「ちよつと踏み込む勇気」があるかないかが分かれ目です。

希望は志であるという人がいます。志が無ければ魂は無い。企業に魂が欠落していませんか。まずご自身が何が何でもこういう会社にしていく、何が何でも勝ち残っていく、常に前向きで強烈な希望、未来に託す思いを持つことです。そしてそこから

## 4月のMS

- 4月3日(土) 第306回  
『屋台村という街おこし事業』  
講師:山形屋台村 渡辺隆博 様
- 4月10日(土) 第307回  
『一貫不怠』  
(社)倫理研究所  
法人局 教育業務部長  
内田文朗 様
- 4月17日(土) 第308回  
『最近の景況』  
講師:東京商工リサーチ  
山形支店長 峯田純一 様
- 4月24日(土) 第309回  
『私の好きな山形』  
講師:日本銀行  
山形事務所長 藤江泰郎 様



仕組みや体質をつくることです。儲かっている人と付き合いのないのならツキがある人と付き合いのない。前向き、肯定的、明るいところに人は集まります。

世の変化の基底は人間関係環境です。環境は自分の心がつくりません。起きる物事をプラスに受け止められると少しづつ環境が変わってきます。希望を持っていくと不思議に環境が変化してきます。希望をもう一度問うてみることで。

かくして、蔵王の倫理経営講演会も無事終了。それでは、解散しまーす。解散!!ハイット!!

4月20日の観桜会に是非ご参加ください。詳しくはFAXにて。

**特集**  
**富士高原研修所**  
**研修報告**

**富士研で心と習慣をキエツク**

山形県倫理法人会  
研修委員長 小島 勤様 (3回目)

▼富士高原研修所はどういうところか申し上げますと、簡単にいえば心技体の中で、心と技をキエツクする人間ドックがこの富士研であろうと思います。心の在り方と、技キエツクする場所であるというと思いますが、日々我々はMSを通して心技の何たるかを学んでおりますが、どうしても人間というものは知らず知らずのうちに自分の癖というものが付いてきます。癖は垢みたくないものですが、それを奇麗に洗ってくれる場所が富士研とご理解いただきたいと思えます。▼心の研修についてですが、「命の遡源」というカリキュラムでは、自分の心を見つめ、自分の命がどこから来たのか、何のために命を預かって生まれてきたのか自問自答しながら自分を見つめます。その体験からの気づきとして、先祖の得意先開拓の苦勞、創業時の思いから原点に帰ることの大切さ、子を思う親の気持ちへの感謝などがありました。▼富士研は倫理を学ぶ方の総集編であり、是非1度は参加して倫理の根本を体感していただきたいと思います。

**反省力で心身の健康増進**

蔵王相談役 鈴木隆一様 (4回目)

▼今、季節がどんどん変化してきます。私自身も季節の変化のように変わりたいな、そしてもし変わるのであれば良くなりたいなと思っております。1年経って、気づいたらあつという間の1年であれば、10年経ってもあつという間の10年です。自分にとつても、会社にとつても、周りの人たちにとつても、きっと私が変わることは良いことだと思います。そんな気持ちを持って富士研に行つてまいりました。▼今年は、挨拶リーダーをやらせていただきました。グループが挨拶をするのを横で見、自分で納得できなければ、厳しく、妥協無く、何度でもやらせました。私がそうですと、まるで鏡のようにグループの人も真剣に挨拶をしてくれました。▼自分では富士研で変わったとは思っていません。変わるチャンスはいただいております。それらのひとつが、3つの「私の決意」です。それが会社と家庭の各々9個の実践項目となり、私は今それらの実践とキエツクをやり続けています。▼これまでの私には、向上しないままに忙しい生活をずっとしていると心身ともに疲れてしまうのではないかと不安感がありました。それをリセットして持続可能な生活にしたい

がための良い習慣づけをしているところなのです。▼キエツクで反省をして、新しくこうしよう決めて、また実践をしていく。この繰り返しで良い習慣をつくるのです。良い習慣によつて、心は守られます。良い心掲げて良い行動をしていく。そのためには「反省力」で心身ともに健康増進。やはりしっかりと反省することが大切なのだと思います。

**心に刻まれた標語**

蔵王専任幹事 金田雄介様 (3回目)

▼今回、私はチャレンジコースを選び、7アクトの達人を目指してきました。とにかく積極的に、元氣よく、礼儀正しく、色んなことを学んでまいりました。そして、「慣れ合いでない優しさ、責め心の無い厳しさ」の標語が本当に心の中に刻まれたと思います。▼全国から来られた方と班を編成し、皆で力をあわせて、呼吸を合わせて、完璧を目指すのですが、練習しているうちに徐々に良くなっていくのがわかってくるので、みんなで行うという気持ちになつてきます。最後に、一発でOKを頂いた時は本当に感動がありました。▼参加記念の写真をいただいたのですが、皆さんいい笑顔で写っていらつしやいます。ただ厳しいだけではなくて、良い学びができるということで、皆さん笑顔になるんだなあと感がありました。

櫻餅  
会長の元氣、モチアゲな話  
第7回

**不易流行**

まもなく新年度、そして入社式があります。先週新卒者に卒業のお祝いと社会人としての心構えについて手紙を出したところです。

卒業おめでとう、いま不安と期待の中で過ごしているところでしょうが、3つのことを心に留め置いて出社願いたい。

1. 学校はつぶれないが、会社は創業した時よりつぶれるようにできている。大きい会社でも小さなところでも同じで「お客様から合格点をもらわないとすぐつぶれてしまう」。

2. 会社は社員さんという個々の歯車が噛み合つて初めて全体として動いている。歯車が噛み合わない組織全体の協力、連帯、連携が壊れつづれてしまう。

3. 会社に貸しをつくる人に早く返してほしい。入社したては勉強をするために給料をもらっているようなもので、早く「借り方」から「貸し方」(自分が一人前になった)になつてもらいたい。そして若い時しかできないこと、基本を身につけて、基礎固めをし、しっかりと土台を早くつくり、21世紀の主役として羽ばたいてほしい。と書かせて戴きました。

我が社の社歌は「風は輝くみちのくの、向日葵色のパイオニア」であります。期待に胸を膨らませた、爽やかな希望の風によつて、向日葵エローが大きく変化することに期待です。

(蔵王会長池田修二)

